

“脳梗塞の基本知識”

脳卒中は人口1,000人あたり年間2~3人が発症する病気です。この中で最も多いのが脳梗塞です。近年治療技術は進歩していますが、高い治療効果を得るためにはできるだけ早く治療を開始する必要があります。脳卒中の初期症状をあらかじめ知っておくことは、迅速な対応につながります。また脳卒中を経験し、再発予防対策が必要な方は全国で2~300万人と推定されています。予防対策には危険因子を知っておくことが重要です。



K-style

Vol. 52
2017 秋号

[特集] 脳梗塞

- 診療科紹介 産婦人科
- 病院の疑問解消!あれこれ
- イベントのご案内
- 「脳動脈瘤」について
- 連携医療機関のご案内
- 次号予告

今号の特集 脳梗塞

知っておきたい初期症状

脳梗塞は脳卒中の一種です。脳卒中といわれる他の病気には脳出血とくも膜下出血があります。脳卒中は早く初期治療を開始するほど治療効果が高くなります。脳卒中かな、と思ったらできるだけ早く受診することが重要です。そのためにはよくみられる初期症状を知っておくと有利です。最も多い症状は体の片方が動かしにくくなるというものです。同じ側の顔から足までが麻痺することもあれば、手だけ、足だけのこともあります。次に多いのが言語障害です。言語障害には口や舌、のどの麻痺により呂律が回らなくなるタイプと言語機能そのものがうまく働かなくなる場合があります。後者の場合はしゃべりにくくなるだけでなく、話がかみ合わない、読めない、書けないといった症状が出ることもあります。顔(Face)の麻痺、腕(Arm)の麻痺、言葉(Speech)の症状は発見されやすく、脳卒中発症の目印として適しています。これらの症状が一つでも見られたら時間(Time)との勝負です。キーワードの頭文字をとってFAST(早く!すぐに!)と言われています。その他の症状としては感覚障害(しびれ)、まっすぐ歩けなくなる、視野が欠ける、ものが二重に見える、ある方向に注意が向かなくなる、頭痛などがあり、意識



川崎医科大学附属病院
脳卒中科 部長
八木田 佳樹
Yagita Yoshiki

危険因子と予防

初期症状が出てから短時間のうちに消えてしまうこともあります。このような状態を一過性脳虚血発作といつて、本格的な脳梗塞の前ぶれである場合があります。適切な治療によってその後の脳梗塞を防ぐことが可能ですので、症状がなくなったとしても病院を受診しましょう。

脳梗塞はならないに越したことはありません。脳梗塞になりやすくなる危険因子として、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、大量飲酒、喫煙があげられます。予防のためにはこれらへの対策が必要です。減塩や摂取カロリーと体重の管理、禁煙といったポイントを意識することで脳梗塞発症の危険性を減らすことができます。心房細動は不整脈の一種で、一過性の場合もあります。ご自身で自分の脈をとり、不規則な脈になっていないかチェックするようにしておくと早期発見につながります。

脳梗塞や一過性脳虚血発作を発症してしまった方は再発する危険性が高く、血栓ができていくようになるようなお薬(抗血栓薬)が必要になる場合があります。このようなお薬は脳梗塞発症を防ぐ効果があります。一方で、出血すると止まりにくいという不都合もあります。出血を悪化させないためには血圧が高くなるように注意が必要です。

急性期治療と時間との勝負

脳は血流不足に対して非常に弱い臓器であり、血流が途絶えてから短時間のうちに回復不能なダメージを受けてしまいます。そうなる前にできるだけ早く脳血管を再開通させて、脳に血液を送り込むことが最も有効性の高い治療です。治療手段としては、脳血管を閉塞させている血栓をお薬で溶かす方法(tPA静注療法)とカテーテル治療で取り除く方法(血栓回収療法)があります。治療に関する情報の蓄積や器具の改良などで治療成績は向上しています。しかし何より重要なのはできるだけ早く治療を開始することです。例えばtPA静注療法では発症から45時間を過ぎれば治療薬を投与することができません。脳梗塞は突然発症するため、初期症状をあらかじめ知っておき、いざというときに迅速に動けるように備えておきましょう。



脳卒中チェックリスト

- 急に体の半分が動かしにくくなる
- 急に呂律が回らなくなる
- 急に話がかみ合わなくなる
- 急に片方の目が見えなくなる
- 急に視野の一部が欠ける
- 急にものが二重に見えるようになる
- 急に触っていることや痛みを感じにくくなる
- 急にふらつく、バランスが取れなくなる
- これまで経験したことのないような強い頭痛

もし今、または今後上記症状が起こったら...

自身に症状がある場合は、速やかに救急車を呼んでください。もしくは、周囲に助けを求め、症状を伝えて、救急車を呼ぶように依頼してください。また、周囲の方は、現在まず安全を確保し、その後速やかに救急車による搬送を行ってください。脳卒中の救命には急性期治療が必要不可欠となります。

診療科のご紹介 産婦人科



産婦人科スタッフ
〈前列左から下屋部長、塩田部長、中村部長〉

産婦人科では、女性の生涯の健康をサポートします。日本産科婦人科学会では周産期医療、婦人科腫瘍、生殖医療、女性医学を産婦人科領域の基本の4つの柱としています。当科では各領域の専門医が外来診療を担当しています。地域周産期医療施設としてハイリスク妊娠の母体搬送をお引き受けするとともに麻酔科の協力のもと安全な無痛分娩にも取り組んでいます。さらに中国四国地区で唯一の双胎間輸血症候群の胎児治療施設、風疹の2次相談施設です。

子宮筋腫・卵巣腫瘍などの良性疾患、子宮がん・卵巣がんなどの悪性疾患の診断・治療を行っています。内視鏡を用いた低侵襲手術を積極的に行い、子宮体がんに対する腹腔鏡手術に取り組んでいます。女性のホルモン異常、不妊症、流産を繰り返す不育症、更年期障害に対する専門外来があり、高齢女性に増加している尿失禁や子宮脱の専門外来も毎月第2火曜日に設けています。

PROFILE

産婦人科のホームページはこちら

詳細はホームページをご覧ください。
<https://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/dept/014.php>



気になる! 脳動脈瘤について

川崎医科大学附属病院
脳神経外科 部長 宇野 昌明

脳動脈瘤とは

脳動脈瘤は脳の太い血管が2本に分かれる分岐部分に瘤状に膨れたものを言います。この瘤の中に常に血液が圧力をかけて入り、また出ていく状態となっています。ある日突然、瘤が破れるとくも膜下出血を引き起こし、今までに経験したことがない強い頭痛が出現し3分の1の人は亡くなります。しかし脳動脈瘤は破裂するまで症状を出すことなくほとんどありません。



未破裂脳動脈瘤(破れていない動脈瘤)が見つかったら?

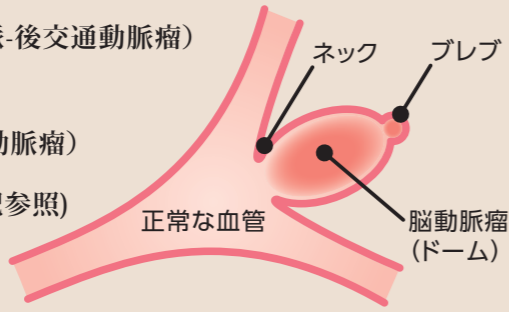
脳ドックや軽い頭痛、めまいのために、たまたま施行した頭部MRIで未破裂脳動脈瘤が見つかることがあります(下図)。未破裂脳動脈瘤は日本人100人中、1〜4人にあると言われ、女性が男性の2倍の頻度で見つかります。

しかし、破裂頻度は高くはありません。平均で破裂率は1年にもっと低いことが日本での調査で分かっています。また最近の解析で左記(PPOINT)のような脳動脈瘤が破裂の危険性がやや高いとされています。



POINT 1 破裂の危険性が高い脳動脈瘤

- 大きさが5~7mm以上のもの
- 5mm未満であっても、
 - ・片目の動きが急に悪くなる、片方の脛が急に開かなくなるなどの症状を呈したもの
 - ・後方の瘤 (脳底動脈瘤、内頸動脈-後交通動脈瘤)
 - ・中央よりの瘤 (前交通動脈瘤、脳底動脈瘤)
 - ・不整形・ブレブ(右記参照)を有するもの
- 多発性のも
- 家族にくも膜下出血患者さんがいる方



未破裂脳動脈瘤の破裂予防と治療

もし未破裂脳動脈瘤が見つかったら、脳神経外科外来を予約受診してください。日常生活で破裂予防の対策を左記(PPOINT)に示します。

POINT 2

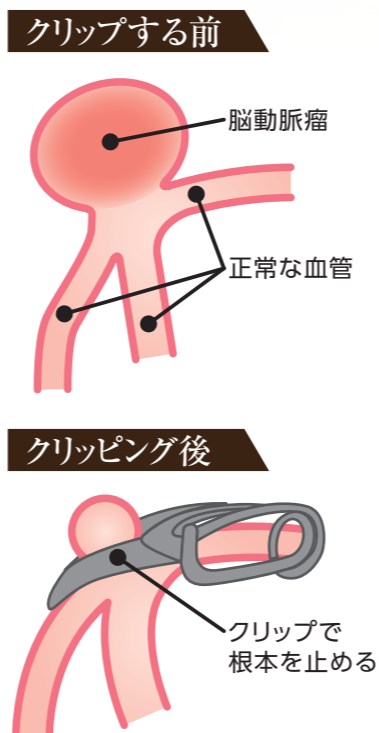
普段からの破裂予防対策

- 血圧の厳重な管理**
家庭での血圧測定で135/85mmHg未満
- 禁煙**
禁煙する
- 急激な温度変化**
風呂や冷房の効きすぎなどを避ける

脳神経外科医と相談し、破裂予防を行う際は次のような手術方法があります。

開頭ネッククリッピング術

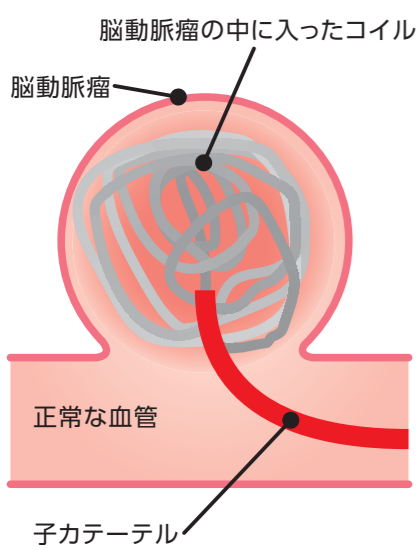
全身麻酔をかけて頭を開き、動脈瘤の根元(ネック)にチタン製のクリップを掛け、動脈瘤の中に血液が行かないようにして破裂を防ぎます。



血管内コイル塞栓術

大腿動脈よりカテーテルを挿入し、動脈瘤の中心まで細い(子)カテーテルを挿入し、プラチナ製のコイルを充てんし、動脈瘤の中に血液が行かないようにして破裂を防ぎます。

手術をしないで経過を追う場合、最低年に1度、または6か月に一度は瘤のサイズの経過を追われることを推奨いたします。



ながしま形成外科クリニック

連携医療機関のご案内

こんにちは。ながしま形成外科クリニック院長の長島史明です。当院は、川崎医科大学附属病院のすぐ傍であるマルナカマスカット店ドーム棟1Fにあります。

川崎医科大学附属病院に在籍した経験を活かし、皮膚科疾患に加え、まき爪やできものけがや傷など、形成外科全般の診療を行っています。川崎医科大学附属病院各科とも連携し、地域に密着した形成外科クリニックを目指しています。また、美容外科にも重点をおいており、脱毛やしみ治療、しわ治療も最新のレーザーにて行っております。土・日曜日の診療もしておりますので、お気軽に御来院ください。

所在地: 〒701-0114 岡山県倉敷市松島1154-2
マルナカマスカット店ドーム棟1F
お問合わせ: TEL.086-463-1010
HP: https://www.nagashima-keisei.jp/
院長 長島 史明先生 休診日: 日曜日、祝日

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00-13:00	○	○	○	○	○	○	○
15:00-19:00	○	○	○	○	○	○	○

※日曜日は10:00~15:00までの受付となります。ご注意ください。

あれこれ 受診編 9

病院の疑問解消! 採血、採尿のことです。

診察前に採血・採尿がある場合は、1時間前にこ来院ください。



Q1 診察が9時の予約になっていますが、その前に採血・採尿があります。何時に病院に来て検査をすればいいのですか?
A 採血検査とは、採血、採尿のことです。採血、採尿の結果は、約1時間かかるので、診察1時間前には検査が受けられるようにこ来院ください。

検体検査

【受付開始】
再来受付機... 7:20~
【業務開始】
採血・採尿室... 7:30~

高齢者の高額療養費の負担額は上がったの?

Q2 8月から70歳以上の高額療養費の上限額が変わったようです。
A 負担能力に応じた負担を求める観点から、平成29年8月診療分から、現役並み所得者の外来(個人ごと)、一般所得者の外来(個人ごと)及び外来・入院(世帯)の自己負担限度額が引き上げられます(2段階)。なお、69歳以下の方の上限額は変更ありません。

8月からの高額療養費の上限額

7月までの高額療養費の上限額

【旧】平成29年7月まで

適用区分	外来(個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)
課税所得145万円以上の方	44,400円	80,100円 + (医療費-267,000円)×1% (多数回44,400円)
課税所得145万円未満の方	12,000円	44,400円
国民健康保険	8,000円	24,600円
国民健康保険	8,000円	15,000円

【新】平成29年8月から

適用区分	外来(個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)
課税所得145万円以上の方	57,600円	80,100円 + (医療費-267,000円)×1% (多数回44,400円)
課税所得145万円未満の方	14,000円 年間上限14万4,000円	57,600円 (多数回44,400円)
国民健康保険	8,000円	24,600円
国民健康保険	8,000円	15,000円

詳細は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)をご覧ください。

イベントのご案内

9月30日 土曜日 第6回 GIST患者会
日時 平成29年9月30日(土) 10:00~13:00
場所 川崎医科大学 校舎棟M702講義室 (病院2階正面玄関からお入りください。)

参加費 無料
対象 一般
お問合わせ 患者診療支援センター 086-462-1111(内線22612)
詳細ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/canc/04-03.php>

10月21日 土曜日 平成29年度 川崎医科大学附属病院 医学講演会 笑顔で脳いきいき - 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり -
日時 平成29年10月21日(土) 13:30~15:00
場所 川崎医科大学 現代医学教育博物館3階講堂

参加費 無料
対象 一般
お問合わせ 川崎医科大学附属病院 病院庶務課 086-464-1164
詳細ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/document/20171021.pdf>

10月21日 土曜日 平成29年度 第3回 川崎医療短期大学公開講座 職場でよくみるメンタルヘルス不調とその対策
日時 平成29年10月21日(土) 14:00~15:30
場所 川崎医療短期大学 体育館102教室

参加費 無料
対象 一般
申込み・お問合わせ 川崎医療短期大学 公開講座係 086-464-1032
詳細ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/kouza/kouza.html>

10月22日 日曜日 川崎医科大学市民公開講座 疾病制圧に向けた大学の挑戦
日時 平成29年10月22日(日) 10:00~11:00
場所 川崎医科大学 校舎棟M703講義室

参加費 無料
対象 一般
お問合わせ 川崎医科大学研究支援係 086-462-1111(内線26030)
詳細ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/med/news/document/20171022.pdf>

次号予告

園尾病院長による 年頭所感 / 女性の不妊症

【診療科紹介】眼科

- ・「男性不妊症」について
- ・病院の疑問解消! あれこれ
- ・連携医療機関のご案内
- ・イベントのご案内・次号予告

掲載内容は予告無く変更される場合があります。ご了承ください。